

長め、畑の上五六尺以上の深さに潮水は氾濫し約十五丁余の農作物
葱、水菜その他一切は流失、枯死し全滅、将来も塩分の浸透泥土の
ため耕作能率が非常なる努力を必要とし、然も三、四年間収穫の期
待をかり得られぬ状態である。

二、南加賀屋支部（大阪市住吉區）

一、家族の死傷

颱風水害の厄の避難せんとしたるもの、或は家屋の破損のため怪傷
者多数あり、殊に二十一日朝耕作の爲め畑に於て居たものは大和川
の決壊、大阪灣堤防を穿り越したる大余の高潮襲来のため、余が
からびて避難したるが我が家は達するまで水に浮かされ、泳いで
漸やく避難したと云ふ状態である。

二、建造物の被害

居宅は高潮に襲はれ、全町床上五六尺に及び潮水が溢れ、畳をはじ
め家財道具は水に流りと成り、殊に衣類の大半は流下したるが秋の
中に衣類も衣類も幾く探えてゐると云ふ状態である。
安立町と同じく各畑中五坪乃至十坪の野小屋を依り、野道具、肥
料等をしまつてお長が、全部流失各戸に備えて居た肥料運搬、收穫
物運搬の小舟も何処へ行つたか判りぬと云ふ状態である。

三、耕地の壊滅と農作物の被害

大和川堤防、大阪灣堤防（防波堤）の決壊数百回、そのため決
壊附近の耕地十町余は高潮に依る波浪のため流失し深さ大余に達
其他の耕地七十町余は泥、砂利が積り、耕地の境界さへ分明せぬ
状態となり、漸く数日前堤防決壊場所の復修策を了したるため、
潮水の浸入を防ぐに至りたるや木が排水の溢れ達せし一望潮水の
如き状態となり、今尚耕地の復活についで対策は全く見送らな
ぎ酷状である。

四、農作物の被害

畑数十町にはこれから収穫にとりかゝりんとするまでに成育して
居りし人参等の他の野菜類はほとんどかたもなく、流失、泥土に被
つて全滅、夏野菜一百町から数百町の損失、約合計四万円——六
万円がりの損失、稲も数町あつたが全部潮のたけ流失したは殆ど
全滅

斯くて農家の収入は旧畑かり一割をも得る事の出来ぬ有様に置か
れてゐる。

三、加島支部（大阪市西淀川區）

一、家族の死傷

少数の怪傷者あり